

		授業者：鈴木（週3時間）		授業者：山内、宮田（週1時間）		
学期	月	指導計画 （学習内容など）	評価計画 （観点、規準、方法など）	指導計画 （学習内容など）	評価計画 （観点、規準、方法など）	
I	4	1章 正負の数 1-正負の数	<知技>正負の数の必要性と意味を理解している。簡単な正負の数の計算をすることができる。	5章 平面図形 1-図形の移動	<知技>移動の意味とその性質を理解し、ある図形を移動させた図形をかくことができる。 基本の作図方法を理解し、作図することができる。 おうぎ形の中心角と弧の関係を理解し、弧の長さやおうち形の面積を求めることができる。 <思判表>平面図形の性質や特徴を用いて具体的な事象をとらえ考察し表現することができる。 <主体>平面図形の性質や特徴を活用した問題解決の過程を振り返り検討しようとしている	
	5	2-加法と減法	<思判表>正負の数を用いて具体的な事象をとらえ考察し表現することができる。			
	6	3-乗法と除法 4-正負の数の利用 (第1回定期考査)	<主体>正負の数の計算方法を活用した問題解決の過程を振り返り検討しようとしている。			
	7	2章 文字と式 1-文字を使った式 2-文字式の計算	<知技>文字を用いることの必要性と意味を理解している。簡単な1次式の計算をすることができる。 <思判表>文字を使った式や1次式の計算を用いて具体的な事象をとらえ考察し表現することができる。 <主体>1次式の計算方法を活用した問題解決の過程を振り返り検討しようとしている。			2-基本の作図 3-おうぎ形
	8	3-文字式の利				
	9	(第2回定期考査)				
	10	3章 方程式 1-方程式とその解き方 2-1次方程式の利用	<知技>1次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。簡単な1次方程式を解くことができる。 <思判表>方程式を用いて具体的な事象をとらえ考察し表現することができる。 <主体>方程式を活用した問題解決の過程を振り返り検討しようとしている。			6章 空間図形 1-いろいろな立体
II	11	4章 比例と反比例 1-関数と比例 (第3回定期考査)	<知技>関数（比例・反比例）の関係を表し、式、グラフを用いて表現したり、処理したりすることができる。 <思判表>関数（比例・反比例）を用いて具体的な事象をとらえ考察し表現することができる。 <主体>関数（比例・反比例）を活用した問題解決の過程を振り返り検討しようとしている。	2-立体の見方と調べ方		
	12	2-比例の性質と調べ方 3-反比例の性質と調べ方				
	1	4-比例と反比例の利用		3-立体の表面積と体積		
III	2	7章 データの分析と活用 1-データの整理と分析 2-データの活用 3-ことがらの起こりやすさ (第4回定期考査)	<知技>ヒストグラムや度数折れ線、代表値の必要性と意味を理解し、データを整理することができる。 <思判表>度数分布表やヒストグラムから、データの分布の特徴を読み取り、説明することができる。 <主体>ヒストグラムや相対度数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	1年間のまとめ		
	3	1年間のまとめ				